

ペプチエイド、PA-001 の第 1 相臨床試験において 最初の被検者に投与されたことを発表

ペプチエイド株式会社（代表取締役社長：舩屋圭一、本社：神奈川県川崎市、以下「当社」）は、新型コロナウイルス感染症治療薬の開発候補品PA-001に関して、米国で実施されている第1相臨床試験において最初の被験者への投与が実施されましたのでお知らせいたします。

PA-001は新型コロナウイルスが細胞内に侵入する際に使用するスパイクタンパク質のS2サブユニットを標的としてデザインされた環状ペプチド阻害薬です。スパイクタンパク質のS2サブユニットを標的とする新型コロナウイルス感染症に対する市販薬は存在せず、PA-001は非常にユニークな作用機序を持っていると考えられています。PA-001を市販薬と併用することで相加的な効果が生じ、新型コロナウイルス感染症の重症化の抑制や臨床症状の改善につながることを期待しています。当社は、臨床研究法に基づきPA-001の日本人健康成人男性30名に対する特定臨床研究を実施し、良好な安全性・寛容性プロファイルおよび用量依存的な血中濃度プロファイルの相関を確認できたことを2022年8月10日にプレスリリースしております。

PA-001の第1相臨床試験では、安全性、忍容性、薬物動態を検証するための健常者および高齢者を対象とした試験を開始する予定です。第1相臨床試験の結果は2025年下期に得られることを想定しています。

PA-001 プログラムは 2023 年に日本医療研究開発機構（AMED）の「新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業」（研究開発課題名：COVID-19 治療薬 PA-001 の非臨床試験及び第 I 相試験）に採択され、補助金の支援を受けています。

以上

■ペプチエイド株式会社について■

ペプチエイド株式会社は、「新型コロナウイルス感染症に対して有効な治療薬を世界中の医療現場にいち早く届ける」という社会的意義に賛同したペプチドリーム・富士通・みずほキャピタル・竹中工務店・キシダ化学の5社が、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）治療薬の開発を目的として2020年11月に設立した合併会社です。ペプチエイドは、治療薬の候補化合物についてペプチドリームから譲渡を受け、非臨床試験からヒトでの有用性確認（POC）に必要となる前期の臨床試験までを最短で実施することを目指します。ペプチドリームが有するペプチド関連技術・ノウハウを活用することに加え、富士通が有する組合せ最適化問題を高速に解くアーキテクチャー「デジタルアニーラ」やHPC（高性能コンピューティング）等を活用することで研究開発スピードの加速を図っています。

■PA-001について■

ペプチドリームの初期探索研究によって見出された特殊環状ペプチドに基づき、国立感染症研究所との共同研究により最適化・特定した極めて高い抗ウイルス活性を有する化合物です。コロナウイルスがヒト細胞に侵入する際に必須となるスパイクタンパク質を標的とし、野生株に加え現在同定されているすべての変異株に対する抗ウイルス活性を確認しております。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

ペプチエイド株式会社

Email: info@peptiaid.com